

音楽 I 学習指導案

指導者 宮崎県立〇〇高等学校 〇〇 〇〇

1 題材 「オリジナル CM ソングをつくろう」

2 題材の目標

音楽を形づくっている諸要素を知覚し、それらのはたらきが生み出す特質や雰囲気を感じ、思いや意図を持ってオリジナル CM の旋律を創ることができる。

3 学習指導要領との関連

A表現 (3) 創作

- ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫すること。
- イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。
- ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の技能を身に付けること。
 - (ア) 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能

4 題材の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>技 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身につけている。</p>	<p>思 音楽を形づくっている諸要素の働きを知覚し、それらが生み出す雰囲気や効果を感じながら、自己のイメージに合った創作表現を創意工夫している。</p>	<p>態 タブレットを一人一台用いた創作活動の中で、作品に対するイメージを持ちながらそれを音で表現していく過程に主体的に取り組もうとしている。</p>

5 指導と評価の計画（8時間）

次	時	学習内容・学習活動	知・技	思	態
			〈 〉 内は評価方法		
一	1 2	<p>○フリーソフト「ミューズスコア3」を用い、4小節の旋律を創作する。作品を共有する中で明確なイメージのもと創られた作品や、偶発的に創られた作品が存在することを理解する。</p> <p>○偶発的に創られた作品の中にも「規則性」や「対照性」などの、生徒のこれまでの知識や経験に基づいた「隠れた意図や思い」があることに気づく。</p> <p>○反復、変化、対照について学習する。</p>	<p>（ワークシート・タブレット）</p> <p>評価の場面 知・技</p>		
二	3 4 5 6	<p>○既成のCMソングを鑑賞する。</p> <p>○日向市の魅力をPRする為のテーマを決定し、歌詞や旋律を創作する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈創作する際の課題や条件〉</p> <p>(1) 反復・変化・対照を用いる。</p> <p>(2) 15秒のCMソングをつくる。</p> <p>(3) 歌詞を付ける。</p> </div> <p>○中間発表と相互評価を行う。【本時】</p> <p>○周囲の作品や意見を共有する中で、様々なイメージに基づいた創作方法が存在することを学ぶ。</p> <p>○練り直しを行う。</p>		<p>（ワークシート・タブレット）</p> <p>評価の場面 思</p>	
三	7 8	<p>○最終的なイメージを基に作品を完成させる。</p> <p>○最終発表会を行う。</p>			

6 本時の目標

・音楽を形づくっている諸要素の働きを知覚し、それらが生み出す雰囲気や効果を感じながら、自己のイメージに合った創作表現を創意工夫している。

7 学習指導過程

学習活動及び学習内容	指導上の留意点・評価
1 前時の学習内容を確認する。 2 本時の学習内容を確認する。	○創作する際の課題や条件を確認させる。 ○本時の目標を明確にさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「友達のオリジナル CM ソングの特色を探し出そう」</div>	
3 中間発表と相互評価を行う。 ① 中間発表 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ① 作品のテーマ ② 創作の経緯 ③ 工夫した点 ④ 気になる点、上手くいかない点 </div> 〈発表方法の例〉 (1) 「ミューズスコア 3」で再生する。 (2) 実際に演奏する。 (3) 全員で歌う。	○反復・変化・対照を視点の一つとして、感じたことや気づいたこと等をワークシートに書かせる。 ○上述の視点から、一番良いと思った作品を一つ選ばせる。 ○仲間の演奏を注意深く聴かせ、様々な創作方法や表現方法があることに気付かせる。 ○創作活動が不得手な生徒でも認められるような雰囲気作りを心がける。 ○演奏が難しい生徒は教師が演奏、若しくは全員で歌わせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> ☆音楽を形づくっている諸要素の働きを知覚し、それらが生み出す雰囲気や効果を感じながら、自己のイメージに合った創作表現を創意工夫している。 (思考・判断・表現) 【ワークシート・タブレット】 </div>
4 一部の作品についてグループで分析する。	○何故多くの支持を得たのかを考えさせる。グループの考えをタブレット上に記入させる。 ○状況に応じて、他の友人の作品についても分析し、より効果的な反復・変化・対照の活用法をグループで考えさせる。
5 本時の学習内容のまとめ、次時の予告を聞く。	○本時の感想や次時の展望を記入させる。

8 生徒の実態に応じた選択学習活動

段階	A 自由創作	B 循環コードによる創作	C 言葉の抑揚による創作	D リズムによる創作
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に進めていく。 ・状況に応じて経過音や刺繍音、和音の構成音について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・循環コード（C→G→Am→Em→F→C→F→G）に旋律をつけていく。 ・状況に応じて刺繍音や経過音、和音の構成音について学ぶ。【タブレット、キーボード】 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿ったキーワード（観光名所や特産品など）をもとに歌詞をつくる。 ・言葉の抑揚に合わせて、歌詞に音を当てはめていく。【タブレット、キーボード】 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿ったキーワードをあげる。 ・言葉をつなぎ合わせ、語呂合わせの良い、または心地の良い組み合わせを考える。 ・リズムパターンにキーワードをはめていく。【タブレット、キーボード】

9 本時のルーブリック評価

評価項目	A 十分に達成できている	B 概ね達成できている	C 努力を要する	評価
思考 判断 表現	自己のイメージに合った作品を生み出すために、より効果的な表現方法について様々な知識や諸要素を試行錯誤するなど、創作表現を創意工夫している。	音楽を形づくっている諸要素の働きを知覚し、それらが生み出す雰囲気や効果を感じながら、自己のイメージに合った創作表現を創意工夫している。	自己のイメージに合った創作表現を創意工夫することができない。	
主体的に学習に取り組む態度	構成上の特徴やその効果やよさに基づいて、相互評価をしたり、自身の作品を練り直したりすることができている。	音楽から知覚・感受される曲想についてのよさについて自分なりの言葉で評価をすることができている。	お互いの作品や自身の作品について、どのような視点から評価をすることが妥当なのか判断をすることができていない。	